

ネットベッド (NE-4D) 組立説明書

※本体数ヶ所をピンで補強してあり、小さな虫穴のように見えますが、虫食いではありませんのでご安心ください。

部品一覧

前枠…1枚 横枠（左右あり）…各1枚 後枠…1枚 床板…1枚
組立ネジ…10本 キャスター…4個（取付済）

組立手順

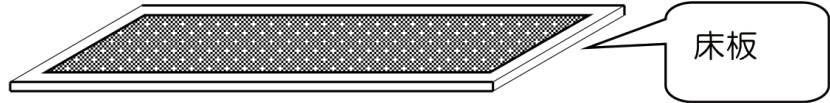
※ 最初に横枠にキャスターを取り付けます。（取り付け済み）

- ① 横枠（左右）と後枠を組立ネジ（4本）で仮止め（完全に締めつけない状態）
します。横枠、後枠は「内側シール」が貼ってある方を内側にしてください。
- ② 床板を側面に穴が開いている方を手前にして受木の上に置き横枠前部の穴から
組立ネジを入れ仮止めします。（計2ヶ所）
- ③ 前枠と横枠2枚を①と同じ要領で固定します。
前枠は「ヤマサキ」シールが貼ってある面を手前にしてください。
- ④ 最後に仮止めしてある組立ネジをしっかりと締めつけます。
（マイナスドライバー、コイン等を使用してください）
前枠の両側のラッチを内側に引いて、前枠がスムーズに上下するかを確認して
ください。

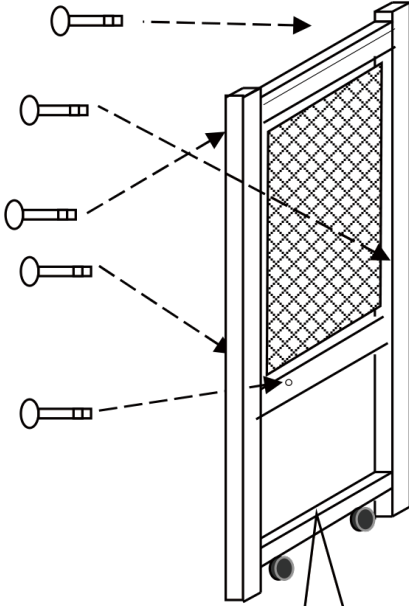
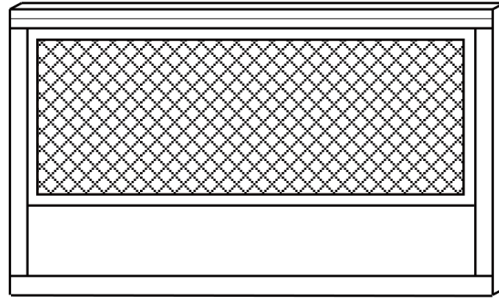
※ ベッドを解体する場合は組立手順と逆の順番で解体してください。

1. 前枠を外す。
2. 床板を外す。
3. 横枠を片方ずつ後枠から外す。

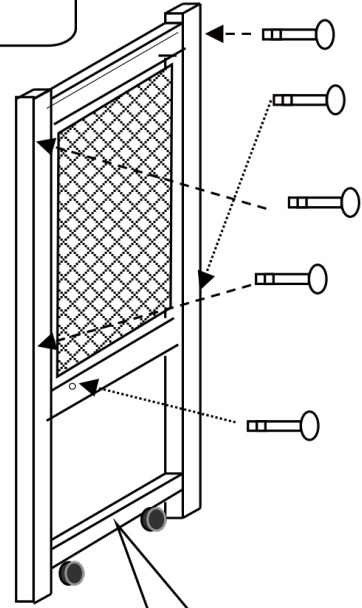
組立ネジ



後枠

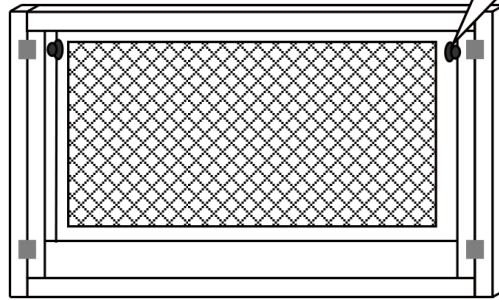


横枠(左)



横枠(右)

ラッチ



前枠



組立ネジ

製造元: (株)ヤマサキ

岡山市南区当新田485-18

TEL 086-241-1622

PSC・SGマーク付き ベビーベッドの特長



ベビーベッドのご利用は **出生後24ヶ月以内** です

※SGマークが表示されているベビーベッドは、主として家庭において、出生後24ヶ月以内の乳幼児の睡眠または保育に使用することを目的として設計されたものです。(揺動型のものはありません。)

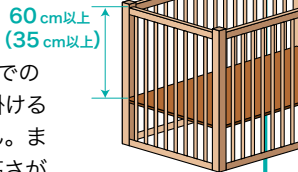
※またマットレス、ふとんなどは対象外となっています。

① しっかりとした構造の床板

床板は使用時に容易に外れないようなしっかりとした構造になっています。

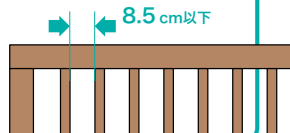
② 乗り越え防止の設計

床板の上面より30cmの高さまでの範囲には、横棧など幼児が足を掛けるような構造は一切付いていません。また、床板の上面から上桟までの高さが60cm以上(床板の高さを調整できるベッドの最上段は35cm以上)に設計されており、乳幼児の乗り越えを防止する設計になっています。



③ 乳幼児の頭が入らないような構造

組子(棧)間や組子と支柱間の間隔は、乳幼児の頭が入らないような構造(8.5cm以下)になっています。



④ 強度検査済みの製品

床板、前枠および後枠、組子などは、所定の強度を保持し、検査基準を満たしている構造になっています。

※乳幼児がベッドの上であばれたり、保護者が枠により掛っても十分耐えられるようになっていますが、保護者は床板に腰を掛けないで下さい。

⑤ 安全性の高い部品や塗料を使用

合成樹脂製品、合成樹脂塗料、繊維製品などを使用しているものについては、食品衛生法や有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律などによる規制基準を参考として、その安全性が確認されています。



使用上のご注意

誤った使い方をして思わぬ事故を起こした例もありますので、正しい使い方に十分注意して、赤ちゃんの安全をお守り下さい。

- 使用してよい乳幼児の年齢は標準として**生後24ヶ月以内**です。
- 敷ふとんおよび、マットレスなどは枠との間に**すき間を生じない**もので、適度な硬さを有するものを使用して下さい。
- ベッドの設置場所は水平、平たんで近くにストーブなどの危険物のない安全な場所を選んで設置して下さい。
- ベッドの外側および内側には乳幼児が足を掛けるような物や折りたたんで高くなったふとん、オムツ、衣類などは置かないようにして下さい。
- 止め金具およびネジ類は**確実に**どうかときどき点検し、ゆるんでいる場合は**しっかり締め直して**下さい。**代替品の金具は使用しないで下さい。**
- 床板の高さを調節できるベッドは、**乳幼児がつかまり立ちできるようになった場合(早ければ生後5ヶ月から)**乗り越える危険がありますので床板は床板上面から上桟までの**高さが60cm以上**になるように調整して下さい。調整後の高さが60cm未満のサークル兼用ベッドの場合は、床板とキャスターを外してサークルとしてご使用下さい。
- 1歳を超えますと、幼児の動きも活発になり、床板の高さが最下段でも**枠を乗り越える**場合がありますので十分ご注意下さい。
- マットレスまたは敷ふとんなどを使用する際には、乳幼児が容易に枠を乗り越えて落下する高さとならないように注意して下さい。
- 扉使用後は(ベッドから保護者が離れる時も)**スライド式または開閉式の扉の柵は必ず**上段**の位置に固定して(戻して)下さい。
- キャスターにストッパーが付いているものは、使用時に必ずストッパーを掛けて下さい。
- ベッドには**ひも類**などの不必要なものは危険ですので取りつけないようにして下さい。
- 枠には腰を掛けたり、ぶら下がったり、揺さぶったりするようなことはしないで下さい。
- ベッドは**破損、故障などが生じた状態**では使用しないで下さい。
- 同時に**2人以上で使用しない**で下さい。
- 乳幼児の頭幅が柵の縦棧の間隔および縦棧と支柱との間隔より小さい場合は、十分注意して使用して下さい。
- スライド式または開閉式の扉を操作する際に、手足などを**はさむ**危険がありますので十分注意して下さい。また、保護者以外は操作しないで下さい。



危険物を近くに置かない



転落する危険があります



床板を下げましょう



転落する危険があります



前枠を上げましょう